

大手塾を経て地元で人気の塾を 育てるまで(前編)

「勉強はスポーツだ!」という合言葉の下、故郷である佐賀県武雄市で「進学塾プレスト」を経営している犬走智英氏。東京の大手進学塾に新卒で入った犬走氏はそもそもなぜ塾の道を目指し、どのような経緯でプレストを立ち上げるようになったのか、このコーナーのホスト役を務める浅見貴則氏が、紐解いていきます。

や雰囲気嫌いが差してしまつたんです。「自分が教える側になり、何とかこれを変えたい」と思ったのが、塾業界を志すことになつたきっかけです。

浅見 それで大学へ進学し塾業界に進まれたと?

犬走 ええ。高校は嫌いで成績も下位でしたが、最後は、合格に向け効率的に受験勉強をした結果、なんとか明治大学に進み、教員免許も取得することが出来ました。

浅見 具体的には、その進学塾のどのくらいに惹かれたのでしょうか。

犬走 バリバリの体育会系進学塾で、講師と生徒の本気と本気がぶつかり合う、古き良き道場のような塾なんです。入試前にはハチマキをして、生徒の士気をより一層高める。語弊があるかもしれませんが、そんな最高に「ダサかついい」ところにシンパシーを感じました。

浅見 そうだったのでですね。

犬走 入社1年目の5月。ヒゲ面で目立っていたのか、新卒代表として会社の運動会で選手宣誓をしてほしいと頼まれました。

高校の時に感じた閉塞感を打破したい!

浅見 犬走さんはなぜ塾の道に進もうと思われたのでしょうか。

犬走 元々、中学までは勉強もスポーツも出来る方で、学校は好きだったのですが、高校に上がると嫌いになってしまいました。通り一遍というか、ステレオタイプな指導

や雰囲気嫌いが差してしまつたんです。「自分が教える側になり、何とかこれを変えたい」と思ったのが、塾業界を志すことになつたきっかけです。

浅見 それで大学へ進学し塾業界に進まれたと?

犬走 ええ。高校は嫌いで成績も下位でしたが、最後は、合格に向け効率的に受験勉強をした結果、なんとか明治大学に進み、教員免許も取得することが出来ました。

浅見 具体的には、その進学塾のどのくらいに惹かれたのでしょうか。

犬走 バリバリの体育会系進学塾で、講師と生徒の本気と本気がぶつかり合う、古き良き道場のような塾なんです。入試前にはハチマキをして、生徒の士気をより一層高める。語弊があるかもしれませんが、そんな最高に「ダサかついい」ところにシンパシーを感じました。

浅見 そうだったのでですね。

犬走 入社1年目の5月。ヒゲ面で目立っていたのか、新卒代表として会社の運動会で選手宣誓をしてほしいと頼まれました。

トマナーでハワイ旅行をプレゼントしてくれるというほど。しかも社長は50歳を超えています。

浅見 普通の会社の運動会とは、大きく違いますね。

犬走 運動会が無事に終わった後も、夏期合宿ではキャンプファイヤーのスタッフに選ばれ、中3受験生3000人の前で歌いメッセージを本気で伝えたほか、社長自ら担当される小学生対象の起業家育成合宿においてもスタッフに選出されました。

その流れからだと思うのですが、リーダー(管理職)育成合宿に参加しないかと声をかけていただいたんです。

浅見 社風がハマつたからか、いろいろな抜擢されることが多かつたんですね。

犬走 そうですね。まさに風のような1年でした。そして

2年目には、公立中学校でも授業をさせてもらうようになります。これは大手進学塾と公立中学校との、連携事業の一環です。

「休ませて」が言えずドクターストップ

浅見 順風満帆、まさにエリートコースを歩んでいるかのようにみえますが、地元佐賀へ帰る決断をされたわけですか。

犬走 ええ。2年目の半年が過ぎた頃、うつ病の一步手前の「抑うつ状態」と診断され、ドクターストップがかかりました。

浅見 今までの話からして意外ですが、なぜだったのでですか?

犬走 同僚がケガで休むこととなり、その穴埋めもすることになったんです。公立中学の授業も引き続きおこなっていましたので、睡眠時間が

ほぼないうに等しいような生活が1ヶ月、2ヶ月と続きました。そして身体に異変が起きます。最初はストレスによるただの胃痛くらいにしか思っていたのですが、どうやら「心のエネルギー」を使い果たしたみたいでした。

浅見 ほぼ寝ないで働くのは、相当大変だったのではないかと思います。

犬走 当時は体育会系の塾なので、生徒には「受験の1年間は、死ぬ気で走り抜け!」とか言うわけです。生徒にそう言っている手前、自分も頑張らなければと思っていました。

お話ししたように、1年目はいろいろな役目を果たしながらも駆け抜けることができたのですが、2年目を迎えた時、「去年と同じことをもう1年間やるのか」と感じたのを覚えています。

犬走 智英 (INUBASHIRI Tomohide)

株式会社プレスト 代表取締役社長

1982年生まれ、佐賀県出身。武雄高校、明治大学卒(中高の教員免許取得)。東京の大手進学塾の講師を経て、「勉強はスポーツだ!」を合言葉に2007年にプレストを設立。2015~2019年、武雄市教育委員を務める。佐賀県スポーツチャンバラ協会理事(師範代)

浅見 貴則 (ASAMI Takanori)

東京工業大学 工学部経営システム工学科卒業 同大学大学院へ進学。修士一年次に株式会社パラリアを起業。学習空間と自習を研究し、オフィスレイアウトの知見を学習塾に応用。埼玉と東京に学習塾を一枚ずつ、また埼玉に有料自習室を一枚展開。



大手塾を経て地元で人気の塾を 育てるまで(中編)

前回に引き続き、ゲストは佐賀で「進学塾プレスト」を4校舎展開している犬走智英さんです。大手塾で1年半駆け抜け、地元で開塾するまで、さらには塾の特徴などを伺いました。インタビューは若手塾経営者の浅見貴則さんです。

を辞めます」の一言が言えず辛かったのですが、のちに妻となる恋人から、「自分の理想の塾を創ったら？」と応援してもらえたのも大きかったですね。徐々に前向きな気持ちになり、仕事や人生を勝ち負けにこだわらず自由に楽しもうと思えるようになり、症状が快方に向かつていきました。

そして、1月の寒いなか、10日かけて2人乗りのバイクで佐賀に帰郷。そこから開塾準備を本格的に始めました。浅見 物件はどうされたのでしょうか？

犬走 当時で築130年ほどだった実家は敷地面積が約100坪と広がったので、その一角を借りました。まさに寺子屋でしたね。

資金を金融機関から借り、親友の建築士に改装を依頼し、2007年春のオープンに漕ぎ着けました。当時は地元の武雄に、佐賀県立中が新設され適性検査入試が始まってすぐだったので、タイムラグもよかったです。

「勉強はスポーツだ！」の理念を訴求
浅見 開塾当初の生徒募集

節などを大切にしているんです。浅見 古き良き道場みたいですね。犬走 授業も動画を見せつつ放しではなく、15分視聴したら問題を解き、解き終わったら解説動画を見るときという流れを2〜3セット繰り返す感じで、スポーツ感覚で知識を体得できるようにデザインしています。

クラス運営や授業にも、スポーツや武道の要素を取り入れる
浅見 クラス運営や授業には、どのような特徴がありますか？
犬走 クラス運営もスポーツや武道でいうところの形(かた)があります。まず教室に入った先生とゲータツチをし、時間になったら皆で礼をして授業開始。最初は、GOOD & NEWを発表してもらい、そこから小テストやそれぞれの学びに入っていきます。

犬走 1・2・1で、やはり中学生が多いのですが、小学生対象の県立中の受検指導

犬走 1・2・1で、やはり中学生が多いのですが、小学生対象の県立中の受検指導

犬走 1・2・1で、やはり中学生が多いのですが、小学生対象の県立中の受検指導

犬走 1・2・1で、やはり中学生が多いのですが、小学生対象の県立中の受検指導

犬走 1・2・1で、やはり中学生が多いのですが、小学生対象の県立中の受検指導

ための戦略的な努力をさせると、すぐに定期テストで学年1位を取る子が出てきたほか、10位以内に入る子も続出。評判は口コミで広がっていききました。

ちなみに、プレストで県立中受検をし、惜しくも不合格になった生徒は、プレスト開塾以来、多くが中学卒業までに地域の公立中で学年総合10位以内を獲得してくるのか、県立中に併設された高校にリベンジ合格してくれています。受検という経験がよい財産となっている証拠だと思っています。

浅見 説明会の告知はどうされていたのでしょうか？
犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

その後はもっと情報発信

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

犬走 まだ新聞折り込みが効く時代だったので、最初は折り込みを使っていました。狭い町内に立て続けに2回撒くなどし、反響につなげることができました。

3ヶ月の準備期間を経て実家で塾を開業

浅見 犬走さんが新卒で入った大手塾を退職してから、どのくらいでプレストを立ち上げたのでしょうか。

犬走 約3ヶ月です。抑うつ状態で責任や義務などの焦燥感に駆られていて、また、負けを認めるようで、「会社

しなくてはと、ブログの執筆を開始。自分の生い立ちや考えを物語風にして発信していると、学生時代に部活やスポーツを頑張ってきた保護者に響くなど、ブログをきっかけに当塾を知ってもらうことも増えていきました。

浅見 素晴らしいですね。集客以外で工夫されていたことありますか？

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。

犬走 当初は、私一人が講師として集団指導をしていたので、遅刻や欠席の生徒の対応に苦慮していました。そこで2年目からは授業の撮影を行い、希望する生徒は後日視聴出来るようにしました。その時から、映像授業の可能性や合理性を強く感じ、現在は、電子ホワイトボードを使った映像授業をあらかじめ制作し、その授業を一人一台用意しているタブレットで受講してもらって一斉個別指導スタイルになっています。



犬走 智英 (INUBASHIRI Tomohide)

株式会社プレスト 代表取締役社長

1982年生まれ、佐賀県出身。武雄高校、明治大学卒(中高の教員免許取得)。東京の大手進学塾の講師を経て、「勉強はスポーツだ!」を合言葉に2007年にプレストを設立。2015~2019年、武雄市教育委員を務める。佐賀県スポーツチャンバラ協会理事(師範代)



浅見 貴則 (ASAMI Takanori)

東京工業大学 工学部経営システム工学科卒業 同大学大学院へ進学。修士一年次に株式会社パラリアを起業。学習空間と自習を研究し、オフィスレイアウトの知見を学習塾に応用。埼玉と東京に学習塾を一校ずつ、また埼玉に有料自習室を一校展開。

大手塾を経て地元で人気の塾を 育てるまで(後編)

前回、前々回に引き続き、佐賀で「進学塾プレスト」を4校舎展開している犬走智英さんの第3弾です。

大手塾での学びがどう活かされたのか、武雄という土地の特色や、今後の展望について伺いました。

大手塾での学びが「スポーツ感覚」の土台に

浅見 大手塾で学んだことの中で、プレストに活かしたとはありますか。

犬走 集団指導の「形」(かた)をしつかり学びました。生徒への指示の出し方や板書の仕方など、かなり徹底して教育していただいたと思っています。「形」を通して「本

質」をしつかり理解していた

ので、生徒に直接授業をせず、映像授業制作のためにビデオカメラに向かって授業をすることになって、集団指導がタブレットを使った一斉個別指導スタイルになって、学んだ形をすぐに応用することが出来ました。また、競争を怖がらず、ライバルと切磋琢磨し、将来、実社会に出た時に活躍できる人を育てたいという思いがあるの

で、全校舎全学年で競う百マス計算大会や経験作文コンクール、模試の成績優秀者ご褒美ポイント、入試前のハチ

マキ、いつもと逆の「スポーツ

は勉強だ！」が合言葉のプレストスポーツDAY等の、競争を本気で楽しめる取り組みを実施しているのですが、ここにも、真の競争原理を取り入れていた大手進学塾での経験が活きていると思えます。

一方で、コンプライアンスや労務管理、品質管理等も、マンパワーに頼らず仕組み化出来ています。社員は年間約120日の休みと毎日しっかりと1時間の休憩があります。休養の時間もバランスを取るためには大切ですよ。

武雄での積極的な活動が認められて教育委員に抜擢

浅見 武雄という土地との関わりについて教えてください。

犬走 武雄は教育については先進的な地域だと思います。ICTを取り入れるのもとても早かったです。タブレットを自宅に持ち帰り、先に知識をインプットしておいて、学校で反転授業をするというのも実施されてきました。

ある時、市役所の隅に設置

されていた市長への手紙ボックスを見つけた。私は東京の大手進学塾時代に、塾と某区の連携事業の一環で、都立中学に派遣され授業をしていた経験があったので、武雄市でもやってみるのはどうかという意見を書いて投函しました。

それがきっかけとなり、2011年〜2014年に武雄市立中学校(武雄中・山中)で、中3受験生対象に塾講師が授業を実施する「武雄つ子英語スペシャリスト育成講座」を担当しました。民間の進学塾の講師が学校で放課後に授業をするというのは同市では初めての取り組みだったようです。

武雄市はその後、教育大綱「組む」を掲げ、官民が連携した施策を講じていくことになりました。私も、武雄市が花まる学習会さんと組むことになった2015年から

わりのない道かもですね。

浅見 追究し変化し続けているという状態こそが、最もバランスが取れている状態なのかもしれないと感じました。三部に渡り、本当にありがとうございました。

仕事もスポーツも、楽しく本気でバランス良く

浅見 最後に、将来の展望を教えてください。

犬走 コロナ禍以前は更なる校舎展開を、コロナ禍では映像授業を活用したオンライン指導の拡充を考えていました。コロナ禍後の今は、自然の流れに抗わないで、持続可能で柔軟性があるサービスを提供していきたいと考えています。リアルとオンラインもバランスが重要だと思っ

取り、多様化する一人ひとりのニーズを先手でキャッチして、それにすぐに応えられるようにしています。

浅見 一貫して強調されている「バランス」ですね。

犬走 商売である以上は、結果を出さなければいけません。授業自体も形を研ぎ澄まし、最短の動きで最大の結果を出せるように突き詰めていきたいです。そんな時に、ブレインストーミングの略の『プレスト』という社名がポイントで柔軟な発想やアイデアの大切さを忘れさせないでいてくれます。楽しく、本気で、バランスも考えながら、仕事をして結果を出していきたいです。

浅見 スポーツの方では、犬走さんは2022年にスポーツチャンバラ世界大会の

長剣両手1級の部で優勝し世界一にいられていて、今年の春に師範代になられました。が、スポーツチャンバラも益々盛り上げていられるかと思えます。とてもパワフルですね。

犬走 息子と一緒に出来る武道をと思い始めたスポーツチャンバラですが、今は二つの道場を運営する立場になりました。今後は、学校の部活動の地域移行の一助に成れたら良いなと思っています。本当は楽しいはずのスポーツ(部活)が本末転倒にならないようにさせてみせませう。あと、今後はEスポーツ×教育にも取り組んでみたいですね。

「勉強はスポーツだー」を武道の精神で追究し続ける

浅見 先ほど、授業の形を研

究して良いと思っ

て、次に繋げて成長していける人を育てたいです。それは、武道に似ていて終

犬走 智英 (INUBASHIRI Tomohide)

株式会社プレスト 代表取締役社長

1982年生まれ、佐賀県出身。武雄高校、明治大学卒(中高の教員免許取得)。東京の大手進学塾の講師を経て、「勉強はスポーツだ！」を合言葉に2007年にプレストを設立。2015〜2019年、武雄市教育委員を務める。佐賀県スポーツチャンバラ協会理事(師範代)

浅見 貴則 (ASAMI Takanori)

東京工業大学 工学部経営システム工学科卒業 同大学大学院へ進学。修士一年次に株式会社バラリアを起業。学習空間と自習を研究し、オフィスレイアウトの知見を学習塾に応用し、塾を運営中。

